

# 道徳(中学校)

## ■ 視点2「主として他の人とのかかわりに関すること」の内容項目は どう改善されたのか。

### 【新学習指導要領】

5項目→6項目

#### 2 主として他の人とのかかわりに関すること

(1) 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。

この内容項目は現行学習指導要領と同じで変わっていない。

(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。

現行学習指導要領では、「感謝と思いやりの心」となっているが、今回「感謝」を削除した。削除した「感謝」は、新たに加えられた2-(6)の内容項目の中へ移行した。

(3) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。

この内容項目は現行学習指導要領と同じで変わっていない。

(4) 男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。

この内容項目は現行学習指導要領と同じで変わっていない。

(5) それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。

2-(5)「謙虚に他に学ぶ広い心をもつ」を「寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ」とした。これは、小学校との内容の関連性と中学校における発達の段階を踏まえ、互いに異なる個性を見付け、違うものを違うと認める寛容の心をもって、他に対して謙虚に学ぶことをより一層強調したものである。

(6) 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。

この項目は、今回追加された項目である。これまで2-(2)「温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し感謝と思いやりの心をもつ」の文言から「感謝」を取り出し、新たに2-(6)として二つの内容項目に分け、項目数を6項目とした。これまで、「感謝」にかかる内容は、主として他の人から受けた思いやりに対する人間としての心の在り方であることから、「思いやり」にかかる内容と表裏一体のものとして合わせて一つの内容としてきたが、小学校における内容との接続や系統を踏まえるとともに、自己を他の人とのかかわりの中でとらえ、望ましい人間関係の育成を図る指導を一層充実する観点からこのような改善を図った。